

養殖場で使用する電動推進船を日本初導入

マルハニチロは、セイカダイヤエンジン株式会社が開発した電動推進船（以下、EV船）を、日本で初めて養殖場に導入しました。2024年5月15日に、(株)マルハニチロAQUA 桜島事業所にて、EV船の進水式を執り行いました。

マルハニチロは、気候変動問題への対応として、2030年度までにCO₂排出量30%削減（2017年度比）を目標に掲げております。自社事業におけるCO₂排出量の削減に向けて、太陽光パネルの設置等様々な施策に取り組んでいます。その一環として、マルハニチロの養殖場では、CO₂排出量の多い重油ではなく、電力を動力源とするEV船の使用について実証試験を行います。従来の船舶からEV船に切り替えることで、養殖場におけるCO₂排出量の削減に期待できます。

(株)マルハニチロAQUA 桜島事業所では、今後本EV船を養殖場の巡回や視察等に用いる予定です。養殖場でのEV船の運用における課題等を洗い出し、EV船の養殖場でのさらなる活用に向けて、継続的な開発に取り組んでまいります。

【EV船概要】

- ・ 船体サイズ：L: 7.7 m × B: 2.6 m × D: 1.18 m (3.6 t)
- ・ モーター出力：48 kW (船内機)
- ・ リチウム電池容量：36 kW (リン酸鉄リチウムイオン電池)
- ・ 定員：8名

